

<図・写真>



<材料・製作方法等>

木材（角材・板） PET板 留め金具
蝶番 ビス ボルト ベルト

①PET板を前面用1枚（長方形）、側面用2枚（直角台形）にカット。②角材でPET板の枠を作る。③底板に角材をビス留めし、前面パネルが開閉できるようにボルトで留める。④側面パネルを蝶番で留める。⑤前面と側面に留め金具を付ける。⑥底板の手前と奥にストッパーとなる板をビス留めする（奥ストッパーは下に隙間を作り、画用紙等が底板からはみ出せるようにする）。⑦ベルトをビス留めする。

<ねらい>

- 上肢に強い筋緊張や不随意運動等のある児童生徒の描画や製作活動において、安全な作業空間を確保する。
＝教師が手を握って動かす支援を要さなくなるため、より高い自由度と主体性ある作業が可能

<指導方法・留意点等>

- 机や座位保持装置テーブルに設置し、ベルトを椅子や背もたれの後ろで留めて使用する。
- 手前開口部より上肢を入れる。上肢をまっすぐに引いて抜くことのできる児童生徒へは、肘の後退をブロックするようなクッション等を必要に応じて用意する。
- ハサミを使用する場合や特に安全上支援を必要とする場合は大開口部から教師が道具把持支援を行う。また、空いている手を傷つける恐れがある場合は道具を持つ手のみを本教具内に入れる。
- 上肢の活動領域を作業スペース内に制限するため、長時間の使用はストレスになることも考えられる。活動中の様子をよく観察しながら、適宜休息をとりながら使用する。
- 滑り止めシートを教具と机の間に敷いたり、クランプ等を使って教具と机に固定したりすることで、教具の設置具合をより安定させることができる。

<指導経過・成果・課題・展望等>

